

2023年12月28日

課題名：日本におけるレジオネラ肺炎診療の現状ならびに抗菌薬治療別の予後について

◆研究の目的と概要◆

本研究では、レジオネラ肺炎患者さんのデータを利用し、現在の日本におけるレジオネラ肺炎の診断ならびに治療の状況、レジオネラ肺炎患者さんの特徴を検討し、今後のレジオネラ肺炎患者さんに対するよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2005年1月から、2019年12月までの間に、レジオネラ肺炎であると診断された15歳以上の方。

◆研究に使用される情報◆

- 年齢、性別、喫煙歴、基礎疾患
- バイタルサイン：体温、血圧、脈拍数、酸素飽和度、呼吸数
- 血液検査データ：WBC、CRP、PCT、TP、Alb、T-bil、AST、ALT、LDH、BUN、Cr、Na、K、Ca、Ht、Hb、Plt、CPK
- 細菌学的検査：尿中抗原検査、喀痰培養検査、喀痰 LAMP 法、血清抗体価
- A-DROP スコア、SOFA スコア
- 治療内容：抗菌薬、ステロイド、人工呼吸管理、昇圧剤投与
- 予後：30日死亡、院内死亡、ICU入室、ICU入室期間、入院期間、30日以内の再入院

◆情報の研究利用開始日◆

2019年12月17日以降

◆研究方法◆

本研究は、一般社団法人健康医療教育情報評価推進機構（HCEI）が保持するデータベースを利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 利用する医療データベースから提供される患者さんのデータには、氏名や住所やカルテIDなど、患者さんを特定することができる情報は含まれず、当院のカルテ情報とも連結することが不可能な状態で提供されます。そのため、本研究の対象となる可能性

がある場合で、かつ、研究への参加拒否のご意向がある場合においても、その患者さんの情報を特定することは困難であり、ご意向に沿うことが不可能であることをご了承ください。

* 本研究に関するお問い合わせは、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

呼吸器内科 研究責任者 伊藤 明広

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp(臨床研究センター)(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法